長崎市立大園小学校　校長室だより　Ｎｏ105

7月

今日の一言



８．７．９　校長　渕上　卓也

「子ども」と「人生の大先輩」



私の母は、小峰町で一人暮らしをしています。今年８７歳になります。渕上は毎日電話をし、週末には買い物をして訪問しています。通院にも付き添います。「母」であり「人生の大先輩」ですからね。

そんな母のところに、福岡にいる私の長男夫婦がひ孫を連れて遊びに来てくれました。この子とは、初めての対面でした。最近元気がないなぁと心配していたのですが、顔を合わせるなり表情が明るくなり、最近見たことがないくらい生き生きとしていました。子ども（孫、ひ孫）の力はすごいですね。

さて先週、大園っ子４年生は、総合的な学習の時間「福祉について」の学習の一環として、近隣の高齢者施設を訪問させていただきました。学習が深まるように事前準備を行い、迎え入れてくださった施設の皆様に感謝です。少しの時間でしたが、渕上も同行させてもらいました。

最初は緊張気味の子どもたちでしたが、徐々に緊張がほぐれ、笑顔が見られるようになってきました。もちろん、人生の大先輩方の笑顔の花もたくさん咲いていましたよ。子どもたちは、体験したり、お話ししたり、交流したり、人生の大先輩方と接する中で、「福祉について」の頭や心を磨いたことでしょう。世代を超えた交流は、お互いを元気にする大切なものであると、改めて思いました。社会経験を積むよい経験ともなりましたね。

２学期にも訪問の予定があるそうです。さらに交流が深まり、もっともっと心が通じ合えたらいいですね。そうすれば、大園っ子４年生も、人生の大先輩方も、「しあわせのバケツ」がいっぱいになることでしょう。いっぱい！いっぱい！楽しみにしています。



＜今日の一句＞

学びます
優しさ　感謝
できること　　卓也